



浦大レター

発行日：2008年1月31日
発行所：浦和大学・浦和大学短期大学部
入試広報室
さいたま市緑区大崎3551
TEL：048-878-5536
FAX：048-878-5690

『人類皆、ショーガイシャ～ありのままに生きる～』

九里総合福祉文化研究所・福祉文化フェスティバル

本学の学内研究機関である九里総合福祉文化研究所（会長＝黒澤貞夫前浦和大学・浦和大学短期大学部学長）は1月12日、本学3号館210教室で「第10回福祉文化フェスティバル」を開催しました。今回は、『人類皆、ショーガイシャ～ありのままに生きる～』をテーマに2組のゲストを迎えて開催されました。

黒澤会長の開会挨拶と総合福祉学部3年の齋藤征希実行委員長の挨拶の後、CILくにたち援助為センター代表の安積遊歩さんが「自分を愛することは世界を愛すること」をテーマに、骨形成不全症という障がいを持ちながら、障がい運動にかかわってきた半生を率直

に語り、聴衆に深い感動を与えました。

続いて、さまざまな障がいや病気を抱えながら、それをそのまま受け入れるだけでなく、それを外部に誇示することによって、自分自身を開放していく活動を行っているお笑い集団ナマラによる「こわれ者の祭典」が行われました。自分たちのマイナス面を笑いによって表出する姿には、少しの銜（てら）いもなく、かえって観客にさわやかな笑いを誘っていました。最後に、城正子九里総合福祉文化研究所長（短期大学部介護福祉科学科長）が参加者への感謝の言葉を述べて終わりました。



▲10回目の記念開催となった福祉文化フェスティバル



▲障がい者自立の道を求めて、さまざまな社会的偏見と戦ってきた半生をたんと語る安積さん



▲生きることへの励ましとなる「お笑い集団ナマラ」のステージ

九里総合福祉文化研究所のサイトは
<http://www.kunori-fukubun.jp/>です。

CONTENTS	
改正「社会福祉士及び介護福祉士法」が可決……………	2・3
さいたま市緑区民まつりボランティア参加……………	4・5
こども学部が合奏・合唱発表会……………	6
土光杯全日本学生弁論大会 石山さん参加……………	6
県と大学リカレント協定書締結……………	7

改正「社会福祉士及び介護福祉士法」が可決

2013年から 介護福祉士国家試験実施へ

改正「社会福祉士及び介護福祉士法」が11月28日の参議院本会議で賛成多数で可決、成立しました。改正の内容は、定義規定や義務規定の見直しなど、かなり大幅になっていますが、特に介護福祉士の資格取得については、社会福祉士と同様に国家試験合格が前提になることです。

これまで文部科学省および厚生労働省で認められた養成施設（大学・短大・専修学校など）で、所定の修業年限を履修した者には、卒業と同時に介護福祉士の資格が与えられてきましたが、今回の改正によって養成施設の卒業生であっても、国家試験を受験して合格しなければ資格を取得できなくなります。

短大の養成施設は 2010年入学者まで現行制度

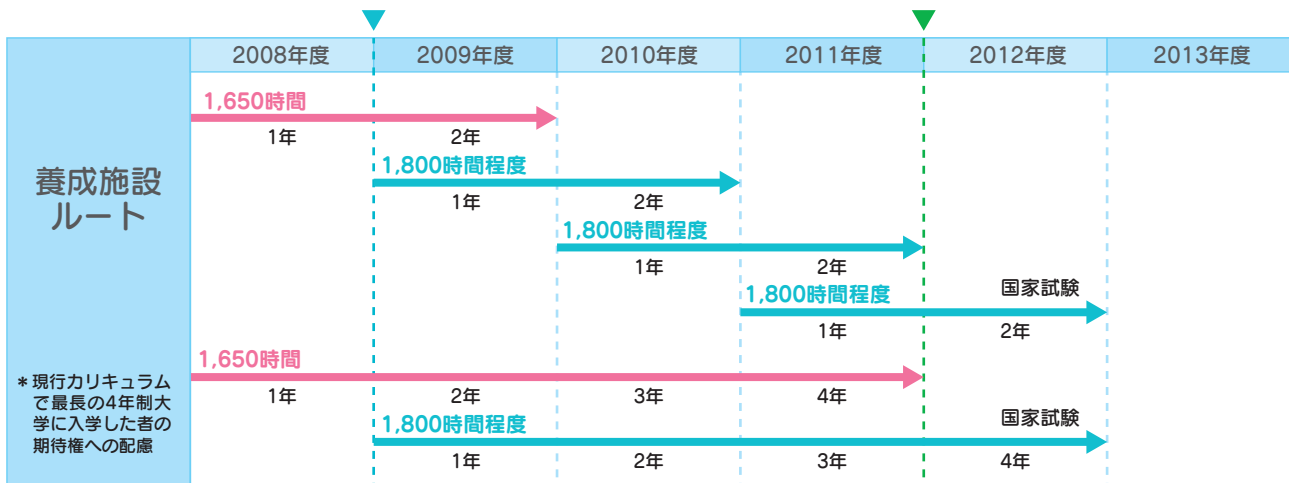
国家試験の実施は、2013年1月から始まる予定ですので、四大の養成施設は2009年4月、短大の養成施設は2011年4月の入学者から適用されることとなります。逆に言えば、それ以前の入学者、例えば短大の場合、2010年4月までの入学者は、現行どおり、卒業時に介護福祉士の資格が与えられます。



介護福祉士の質を高めるために 難しくなりそうな試験内容

今回の改正では、介護福祉士の資質向上のために、養成施設での履修時間が1650時間から1800時間に増やされ（2009年度）、その内容も文部科学大臣・厚生労働大臣の指導監督が行われることとなります。従って、国家試験も従来のもものと比べると、かなり高度な内容になるものと予想されます。福祉系高校ルートや実務経験ルートに課せられている現行の国家試験では、2006年度の合格率は約50%でしたが、新しい国家試験では、現行よりも難しいものになりそうです。

介護福祉士資格制度見直し実施スケジュール



改正法に対する浦和大学の対策

今回の改正法では定義規定の見直しとして、介護福祉士の「介護」を「入浴、排せつ、食事その他の介護」から「心身の状況に応じた介護」に改めるという一項があります。この定義規定の見直しは、介護を介助技術などの狭い範囲ではなく、介護を全生生活的かつ全人格的な課題として捉え直そうという考え方があります。

また、義務規定では、個人の尊厳の保持、認知症等の心身の状況に応じた介護、福祉サービス提供者、医師等の保健医療サービス提供者等との連携について、新たな規定が盛り込まれています。

本学では、これらの新しい定義規定や義務規定に

ついては、既に厚生労働省が「これからの介護福祉士のあり方」のなかで、より具体的に提示してきており、これらを取捨する形で現在のカリキュラムの中に積極的に取り入れてきました。また、2003年4月に浦和短期大学福祉科社会福祉専攻を発展的に解消し、浦和大学総合福祉学部へ改組したことも、そうした方向性をはっきり示したものとと言えます。

改正法が成立したばかりで、関連政省令がまだ明確になっていない段階で、今後の対応を明らかにできませんが、いずれにしても改正法の趣旨・精神に即した教育・カリキュラムを検討していく方針です。

併設浦和大学総合福祉学部への3年次編入により社会福祉士資格取得も

改正法では新試験制度導入後、養成施設の卒業生に対する暫定的な資格として「准介護福祉士」を新たに設けることになっています。本学では新試験制度導入後は、介護福祉士国家試験の合格を目指した受験対策講座などによって、徹底した指導を進める予定です。同時に、短期大学部介護福祉科の卒業生

の質的向上を図る一環として、2007年度に導入した学内編入制度を奨励し、総合福祉学部3年次編入後の大学在学中に介護福祉士国家試験の合格を目指し、併せて社会福祉士国家試験合格へ向けての指導も行います。

介護福祉科で特別講師による音楽療法授業

本学の関連施設である特別養護老人ホーム『スマイルハウス』の1階ホールで音楽療法授業を行いました。講師は音楽療法では日本で第一人者といわれる師井和子先生。なお、師井先生は1月22日、日本

テレビの『くちこみ☆ジュニー』（首都圏放映）の『半田健人の昭和熱中時代』コーナーで歌手・小田和正の歌がなぜ幅広く受け入れられ、癒しになっているかでコメンテーターとしてビデオ出演しました。



▲学生を指導する師井先生

◀音楽に合わせて紙風船を布でつきあげるゲーム。力の入れ具合と全員の息を合わせる事が大切

さいたま市
緑区民まつり

雨を物ともせず 区民まつりを盛り上げる

学生200人がボランティア参加

去る11月10日(土)に開催された「さいたま市緑区民まつり」に本学学生約200人が参加、冷雨が降る中、湿りがちな区民まつりを盛り上げました。

緑区民まつりは政令指定都市さいたま市が区制に移行したのを記念して2003年から本学の近隣にある大崎公園で開催されています。本学は毎年、全学的なボランティア活動の一環として参加し、訪れた地元の皆さんに喜ばれています。

第5回となる今回の区民まつりは、あいにく早朝から強い雨が降っていたため、開催が危ぶまれるほ

どの悪コンディションでした。それでも本学は数棟のテント村を作ってこどもの遊び場をつくり、屋外ではシャボン玉自動製造機や車いす体験など、盛りたくさんのイベントを用意し、例年になく数少ないこどもたちでしたが、喜ばれました。

中央ステージでは、本学のダンスサークルを中心に、さいたま市健康ダンスや、お祭りのフィナーレを飾る浦和大学よさこい踊りを披露して、お祭りを盛り上げました。



雨中でのテント設営。
キャンプ実習での経験が役立った



ようやく来てくれたこどもに
風船のプレゼント



テントの中でのバルーンアート作り



フリスビーを標的に当てるのは結構難しい



どの子もシャボン玉を壊すのが大好き



吹いて膨らますだけがシャボン玉じゃないよ



ステージで「さいたま市健康体操」を披露



区民も一緒になって楽しむ



区民まつりのフィナーレを飾る「よさこい踊り」を披露



着ぐるみトリオが愛きょうを振りまく



群舞はステージをはみ出して区民とともに



まつり終了後、緑区長から感謝の言葉を受ける

こども学部が合奏・合唱発表会

音楽授業で合奏や合唱の練習をしてきたこども学部が1月18日、本学関連施設である特別養護老人ホーム「スマイルハウス」2階のホールで、デイサービスの利用者の前で合奏や合唱を披露しました。また、大学内の多目的ホールでは、こどもコミュニティーセンターで毎週金曜日に開催されている親子ひろば「ボッケ」に参加した親子を招待して合奏・合唱を披露しました。

A組 が「スマイルハウス」で デイサービスの利用者の前で



▲1年間の音楽授業の成果を披露。利用者もよく知っている歌曲は好評



▲最後は利用者からのアンコールで「翼をください」を熱唱。終わった後、「また来てくださいね」と手を握られて頼まれる学生も

B組 が親子ひろば 「ボッケ」参加の親子の前で



▲本学多目的ホールでボッケ参加の親子を前に合唱



▲すっかり親しくなったお兄さん、お姉さんの演奏に、おとなしく聴いている幼児たち



▲A組も参加した全員合唱では、すっかりなつかれてしまって幼児を抱えたまま参加する男子学生の姿も

土光杯全日本学生弁論大会に参加

総合福祉学部2年の石山 愛さん



第24回土光杯全日本学生弁論大会（主催＝フジサンケイグループ行革キャンペーン実行委員会）が1月12日、東京サンケイビルで開催され、本学から総合福祉学部2年の石山愛さんが参加、「読書で得られる未来へのちから」と題して演説しました。大会には原稿審査を得て選抜された18人が出場、石山さんは惜しくも入賞を逃しましたが、毎年のように出場者を出している東京大学などの学生たちに伍して、堂々と自分の主張を述べました。



▲石山さん(中央)と付き添いの本学福祉教育センター職員(右側の中山律子さんは第17回大会のフジテレビ杯受賞者)



▲演壇で堂々と意見を述べる石山さん

埼玉県と 大学リカレント協定書を締結

埼玉県は12月25日、団塊世代や高齢者の地域活動支援を強化するため、浦和大学をはじめとする県内四大学と授業科目を開放する大学リカレント協定を結びました。この協定は55歳以上の埼玉県民が学生とともに学ぶことによって、社会活動への意欲を高めてもらおうというもので、全国に先駆けての取り組みです。

本学では、この協定に先立つ11、12月に『「こどもと育つ」～子育て・孫育て支援のために～』

をテーマにした4日間8講義のリカレント教育（別項参照）が行われており、今回の協定締結は、この授業を追認する形で行われました。

今回の協定に基づく大学リカレント授業は「社会福祉法制論」と「障害者心理学」の2科目で、1科目1万円です。募集要項については2月以降に発表される予定です。



▲協定書締結式には九里幾久雄理事長が出席し、上田清司埼玉県知事と署名協定書を交換



▲「こどもと育つ」をテーマにしたリカレント教育の開講式



▲履修者11人に終了証を手渡す九里理事長

🌱 「こどもと育つ」をテーマにしたリカレント教育の講義内容

- 「アメリカン・ファミリー」とは？
- こどもの育ちと家庭・地域～現代社会に生きるこどもたち
- こどもの世界を体験しよう～こどもの遊び～
- こどもの発達と子育て支援～こどもの心の育ち
- こどもの歌～つくり歌・わらべ歌・童謡～
- 中国のおじいさん・おばあさん
- こどもと楽しむ本
- カナダの家族支援に学ぶ

入試個別相談会 開催のお知らせ

2・3月のAO入試および3月8日のⅡ期一般入試に向けた「入試個別相談会」を開催します。

2月9日(土) 午後0時30分～15時30分 (随時・予約不要)

〈午前9時～12時は予約をお願いします〉



- ① あなたに合った相談ができます(学部・学科の教員が対応します)
- ② 一般入試、AO入試の要点をお教えします
- ③ 充実した実習施設など学内施設の見学・体験ができます

春のキャンパス見学ツアーのお知らせ

新3年生を対象とした「キャンパス見学ツアー」を開催します

3月26日(水) 13時～16時 (随時)

- *さまざまなイベントを準備しています。
- *志望する学部学科の教員が相談に応じます。
- *予約は不要です。
- *午前中をご希望の場合は、電話・Eメールなどで予約してください。



※入試個別相談会・キャンパス見学ツアーとも詳細は受験者用ホームページ<http://www.uradainyushi.jp>をご覧ください。
当日、臨時バスが運行されます。

スクールバス運行表

東川口駅発 本学行便

浦和大学行		
平日	時	土曜日・休業期間
35 33 31 29 25 00	8	10 35
30 00	9	30
50 20 17 14 11 08 05 00	10	10
30 00	11	00
40 30 20 10 00	12	10
30 00	13	00
50 20 10 00	14	10
50 20 00	15	00 50
50 40	16	40

無印…大学行直行です。■…浦和美園駅経由で大学行です。

浦和美園駅発 本学行便

平日		土曜日・休業期間	
東川口駅行	浦和大学行	時	浦和大学行
	45 20	8	20
17	15	9	10
37	15	10	30
17	15	11	20
27	15	12	35
47	15	13	05
43	15	14	05
57	15	15	05
47	05	16	05
	05	17	05

本学発 東川口駅行・浦和美園駅行便

東川口駅行・浦和美園駅行		
平日	時	土曜日・休業期間
40 35 10 10 08 06 04 00	8	05 10
48 46 44 42 40 38 10	9	00 10 40
40 30 00	10	20 40
50 40 10	11	10 40
40 20 10 00	12	25 40 55
50 40 10	13	40 55
40 36 33 30 00	14	40 55
50 30 20 00	15	30 55
40 30 25 20 15	16	20 55
45 30 15 10	17	10 15 30
55 45 15 00	18	
30 15	19	

無印…東川口駅行直行です。■…浦和美園駅経由で東川口駅行です。
■…浦和美園駅行です。

※注意事項

1. 運行時刻表は、行事により変更することがあります。
2. 休業期間は(夏季期間)8月1日～9月18日(冬季期間)12月25日～1月5日(春季期間)3月15日～3月31日です。
3. 日曜・祝日および12月29日～1月3日はすべて連休です。

学校法人 九里学園 浦和大学／浦和大学短期大学部

入試 | 〒336-0974 さいたま市緑区大崎3551 ☎048-878-5536(直通) FAX 048-878-5690(直通) 携帯電話 090-8720-0613(直通)
広報室 | URL <http://www.uradainyushi.jp> E-mail un@uradainyushi.jp 携帯mail uradai@docomo.ne.jp